

この旅は君たちの扉を開くものとなるのか

第68期見学旅行団長 鈴木 亮介

ディズニー映画「アナと雪の女王」で、閉鎖的な生活に悩むアナが晩餐会で王子と出会い、意気投合した二人が歌う『Love Is an Open Door』。誰もが知る名曲ですよ。その中に、

All my life has been a series of doors in my face… わたしの人生、いつも目の前は閉ざされた扉ばかり… But with you But with you I found my place… けどあなたと けど君と、やっと居場所を見つけられた… And it's nothing like I've ever known before Love is an open door 今まで知らなかった気持ちが沸き起こってくる 愛が扉を開いてゆく
---

といった歌詞があります。(その後の展開は置いておくとして) これまでとは異なる世界に向かって扉が開いたことへのアナの高揚感(ワクワク感)を感じます。

いつものとは違う風景、空気感、周囲の人、文化…5日間、68期の皆さんは、日常とは大きく異なる環境の中に身を置くこととなります。日本では体験できない刺激を受けることもあるでしょう。自分の常識や固定観念が、良いことも悪いことも含めて簡単に覆されたり、視野が広がることで新しい考え方が生まれたりするかもしれません。海外という、いつもとは異なる環境に身を置くことで、自然と自分が「感じたこと」こそが、この旅の意義と言えるでしょう。

異文化に触れることで、世界が身近なものとなるので、世界に対する興味が湧いてきます。異文化に触れることは、いつもより勇気が必要なので、積極性が養われます。異文化に触れると、日常の当たり前が通用しないこともあるので、価値観が変わります。そして、異文化に触れることをとおして、海外と日本を比較できるので、自分たちの社会の良いところや課題を再認識できます。

単に英語を上手く話し、海外の人々と楽しく交流するだけではなく、異なる思考や生活観を深く理解、共感し、世界の多様な文化や価値観に目を開くことができる国際的な視野を少しでも手に入れてくれることを願います。

この旅が皆さんの扉を開きますように。